

博物館における学芸員の重要性についての声明

化石研究会は古生物学の発展を目指し、生物進化を追及することを目的としています。化石研究会には博物館で活動している会員が多くおり、博物館とそれを支える学芸員の重要性を改めて確認し、広く皆さんに訴えます。

博物館は自然や歴史・文化の価値を判断し、継承を担うと共に、社会による知的財産の利活用の拠点として、国や地域の歴史的、文化的、科学的に重要な貴重な資料の調査研究、収集、保管、整理、展示、教育・啓発活動を行っています。学芸員に代表される博物館職員は、博物館の活動を支える学術レベルの維持発展と管理運営に重要な役割を果たし、地域社会のもつ世界的な自然遺産・歴史遺産の調査研究やその利活用、さらに科学の発展・普及に大きく貢献しています。

日本の博物館は、国際的に高い評価を受けていますが、それは博物館職員の日々たゆまぬ努力の結果です。一方、人材不足や予算縮小のため、十分な活動を行えていない博物館も少なくありません。博物館職員の活動は、ほとんど世間の目に触れることがないために、その役割は評価されにくい面があります。いま、改めて博物館の意義や学芸員に代表される博物館職員の役割について、多くの方々に知っていただき、博物館の活動に関して一層のご理解とご支援をお願いする次第です。

2017年4月25日

化石研究会 会長 三島弘幸

運営委員会一同